

## 阿木川ダム防災操作により下流河川の水位を避難判断水位以下に低減 ～管理開始以降 3 番目の流入量(366.85m<sup>3</sup>/s)を記録～

木曾川水系阿木川の阿木川ダム流域では、気圧の谷の影響により、8月18日7時頃から雨が降り始め、その後、11時には時間雨量約49.6mm(ダム流域平均雨量)の激しい雨を記録しました。18日12時までの総雨量は、約109mm(ダム流域平均雨量)となり、この降雨によりダムへの流入量は18日11時44分に366.85 m<sup>3</sup>/sに達し、平成3年度の管理開始以降 3 番目の流入量を記録しました。

阿木川ダムではダムに流れ込む水の一部を貯める防災操作を実施し、ダム下流の大門地点(恵那市長島町正家)の河川水位をダムがない場合と比べ最大約 1.04 m低減させ、避難判断水位以下としました。

\*防災操作とは、大雨などの際、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込み、ダムから下流へ流す量を減らし、下流の河川の水位を低減させる操作です。

\*今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。



平成29年 8月18日

独立行政法人水資源機構 阿木川ダム管理所

発表記者クラブ

恵那記者クラブ、中津川記者クラブ  
恵那市ケーブルテレビ

### 【問合せ先】

独立行政法人水資源機構 阿木川ダム管理所

所長代理(事務) すぎやま 杉山

住所 岐阜県恵那市東野字花無山2201-79

電話 0573-25-5295(代表)

## 阿木川ダム防災操作により下流河川の水位を避難判断水位以下に低減 ～管理開始以降 3 番目の流入量(366. 85m<sup>3</sup>/s)を記録～

木曾川水系阿木川の阿木川ダム流域では、気圧の谷の影響により、8月18日7時頃から雨が降り始め、その後、11時には時間雨量約49.6mm(ダム流域平均雨量)の激しい雨を記録しました。18日12時までの総雨量は、約109mm(ダム流域平均雨量)となり、ピーク流入量は18日11時44分に366.85m<sup>3</sup>/sに達し、平成3年度の管理開始以降3番目の流入量を記録しました。

この降雨により、18日の10時24分に、ダム流入量は洪水量(120m<sup>3</sup>/s)に達し、ダム流入量が最大となった同日11時44分時点では、ダム流入量の約74%を貯留しました。

### 阿木川ダム防災操作の概要

流域平均総雨量	ダムへの流入量が最大となった時刻	同時刻におけるダムへの流入量	同時刻におけるダム放流量	同時刻におけるダム貯留量
109.0mm	平成29年8月18日 11時44分	毎秒366.85m <sup>3</sup>	毎秒96.64m <sup>3</sup>	毎秒270.21m <sup>3</sup>

阿木川ダムがない場合と比べ、ダム下流の河川水位は、大門地点<sup>だいもん</sup>で約1.04m水位を低減し、阿木川ダム防災操作により、避難判断水位(2.60m)を超過することを防げたものと推定しています。

### 大門地点の水位低減効果

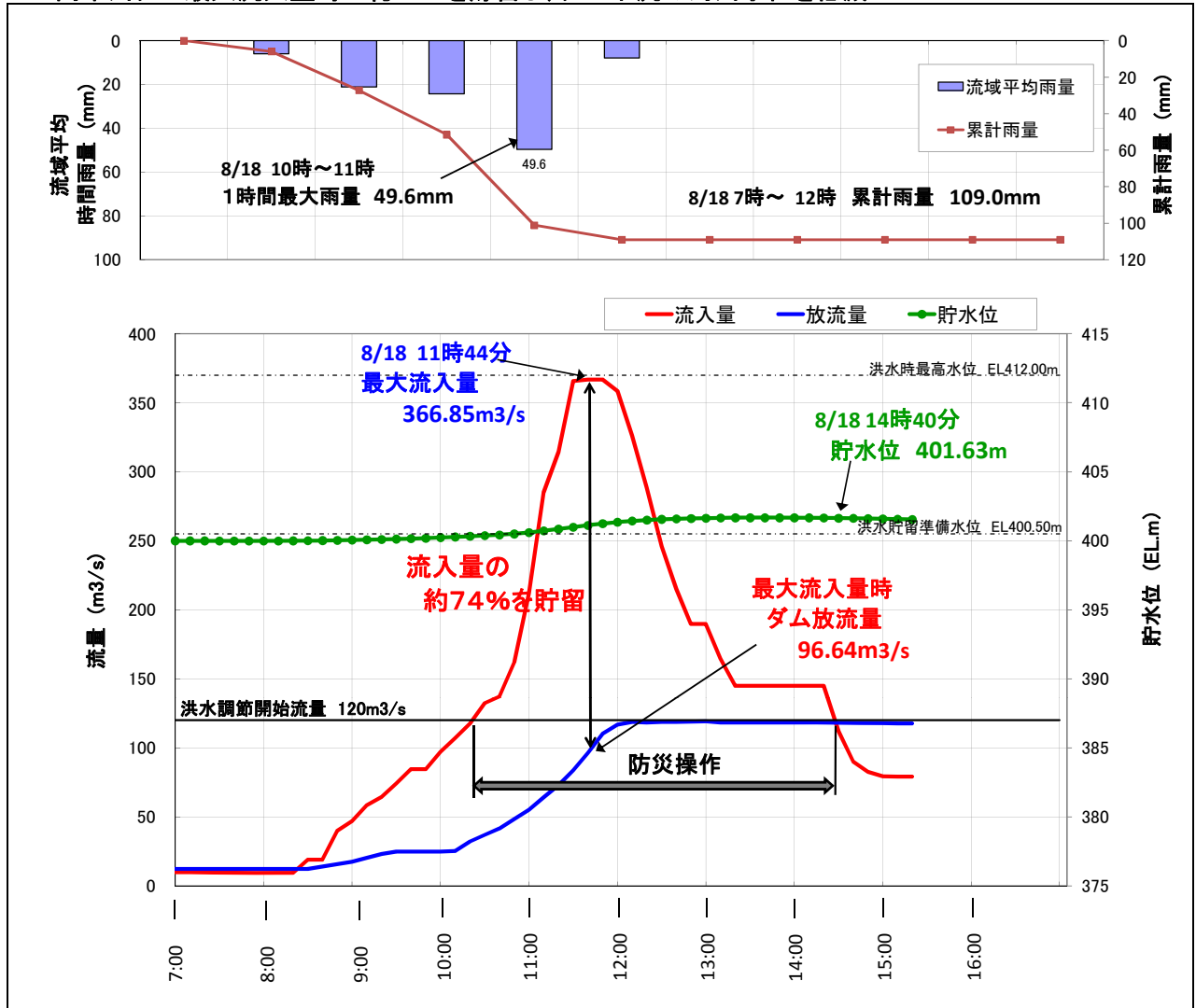
ダムへの流入量が最大となった時刻	同時刻における大門地点の河川水位	ダムがなかった場合の大門地点の最高水位	水位低減効果
平成29年8月18日 11時44分	2.04m	約3.08m	約1.04m

\*大門地点：大門水位観測所<sup>えなしおさしまちようしょうげ</sup>(恵那市長島町正家)地点

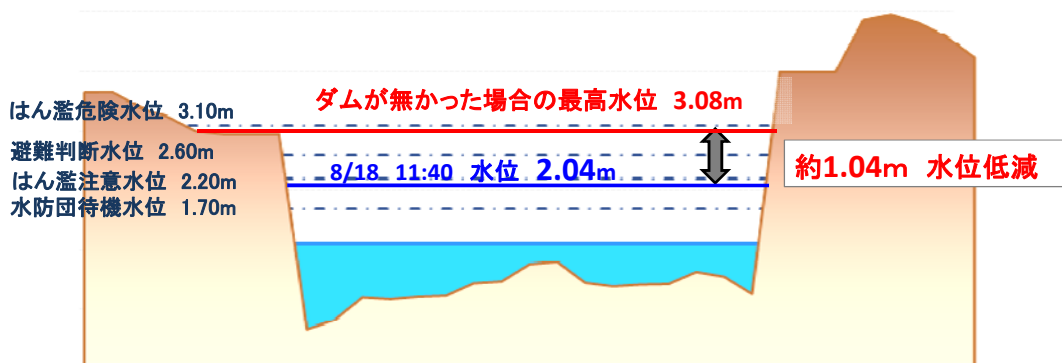
今回の阿木川ダム防災操作により、18日14時40分の時点で、ナゴヤドーム約1.3杯分(約166万立方メートル)の水をダムに貯留しました。

## 気圧の谷の影響による降雨に伴う阿木川ダム防災操作について

阿木川ダム最大流入量時に約74%を貯留し、ダム下流の河川水位を低減



### 下流河川(大門地点) 水位状況



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

# 大門地点 位置図

